

# 総 会 宣 言

三重県小中校長会は、結成以来、組織の総力を結集して、その時代の課題を正面から受け止め小中学校教育の充実と発展を目指し、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきました。しかし昨年度、新型コロナウイルス感染拡大は学校教育に大きな影響を及ぼし、「子どもたちの学びの保障」と「感染防止の取組」を両立しながらの学校運営となり、その取組は未だ続く状況にあります。

その上、教育を取り巻く社会情勢は、人口減少や少子高齢化、グローバル化や技術革新が進み、子どもたちを取り巻く状況は複雑化・多様化し、先が見えにくくなってきています。生徒指導上の問題では不登校児童・生徒の増加等が依然として大きな課題となっており、加えて、コロナ禍による児童虐待は増加し、子どもの貧困や子育てに不安を持つ保護者の増加を加速度的なものにしていると言えます。更に、家庭にいる時間が長くなったことで、SNS等の利用が進み、ネット上での誹謗中傷を受ける等が起こるリスクも顕著になり、学校運営の見直しや教育・生徒指導の充実だけでは解決できない課題となっています。

このような状況下において、小学校に続き、今年度から中学校で新学習指導要領の実現に向けた教育改革が求められ、それとともに「学校の働き方改革」も進めなければなりません。今後、知識基盤社会が進展していく中で、学校教育においては、子どもたちを学校教育の主人公に据え、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合い、自らの人生を切り拓き、多様な他者と協働しながら、よりよい社会の担い手となる資質・能力を兼ね備えた人材の育成が求められています。働き方改革を進めながら、こうした新しい教育観を実現することは至難の業と言わざるをえません。

私たち校長は、学校経営方針や学校改革に向けた強い意志を持ち、学校経営の責任者として教職員一人一人の力量を向上させ、学校組織としての教育力を高め、地域・保護者から信頼される学校づくりを創造する必要があり、時代の潮流を的確に捉え、自らの使命に誇りを持ち、力強いリーダーシップを発揮し、本県教育の充実と発展に努め、県民の信託に応えていかなければなりません。そのためにも、郡市校長会、県校長会の活動の大切さと連携の必要性が、新型コロナウイルス感染が終息しないからこそ、求められています。

本会は、信念と自負を持って歩み続ける校長会として、更に、各学校で奮闘をしている校長の拠り所となるべく、次の事項の実現に全力を尽くすことを、本年度総会の総意を持って宣言します。

## 記

- 一、確固たる経営ビジョンに基づく、活力ある学校経営の推進
- 一、一人一人の生命と人権を尊重し、人権感覚あふれる学校づくりの推進  
(豊かな心と健やかな心身の育成、いじめ・不登校等の根絶を図る生徒指導体制の充実、全ての学校で人権教育の充実)
- 一、新学習指導要領が求める学校づくりの実現  
(学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技術」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」)
- 一、保護者・地域住民との連携の強化
- 一、安全・安心な教育環境づくりの推進と防災教育の充実
- 一、働き方改革の推進と教職員の資質・能力の向上
- 一、教育諸条件の整備・充実及び管理職の待遇改善

令和3年4月27日

令和3年度 三重県小中学校校長会総会